資料３

熊本城復旧基本計画（案）

令和５年３月改定

熊本市

目次

計画改定にあたって ..... －　－

第１章　はじめに

１　計画策定の趣旨・目的 ..... －　－
２　計画の対象区域 ..... －　－
３　計画の期間 ..... －　－
４　計画の位置づけ ..... －　－

第２章　熊本城の被害状況

１　熊本城の沿革 ..... －　－
２　熊本城の概要 ..... －　－
３　熊本城の被害状況 ..... －　－
４　熊本城の復旧状況 ..... －　－

第３章　復旧方針

１　基本方針 ..... －　－
２　石垣・建造物等の復旧方針 ..... －　－
３　石垣・建造物等復旧の着手優先度 ..... －　－
４　復旧手順及び期間 ..... －　－

第４章　施策と具体的な取り組み

１　被災した石垣・建造物等の保全 ..... －　－
２　復興のシンボル「天守閣」の早期復旧 ..... －　－
３　石垣・建造物等の文化財的価値保全と計画的復旧 ..... －　－
４　復旧過程の段階的公開と活用 ..... －　－
５　最新技術も活用した安全対策の検討 ..... －　－
６　100 年先を見据えた復元への礎づくり ..... －　－
７　復旧基本計画の推進 ..... －　－

第５章　計画の実現に向けて

１　実現に向けた課題と対応 ..... －　－
２　計画の進捗管理 ..... －　－

【資料編】 ..... －　－

計画改定にあたって

平成 30 年(2018 年) 3 月策定の熊本城復旧基本計画（以下、復旧基本計画という）に基づいて、この５年間で天守閣や重要文化財建造物、石垣などの復旧に鋭意取り組んできました。令和２年(2020 年) 3 月には展示型復旧を主旨とする特別見学通路の供用が始まり、多くの来城者に復旧工事の実際をご覧いただいているところです。

復旧工事の成果としては、令和３年(2021 年) 1 月に重要文化財建造物の復旧第一号として、城下の街中から目にできる長塀が復旧しました。また同年３月には、天守閣が完全復旧し、続いて６月からは内部公開が開始されました。このように地震発生からこれまでの初動期の復旧事業については、計画に沿った進捗の状況にあります。周知のように本計画においては、計画の期間を短期５年、中期 20 年などと定めてきたところですが、このうち短期５年間の事業進捗率はほぼ当初の計画通りに推移していると言えます。

しかし、復旧基本計画の策定から５年が経過した時点でこれまでの復旧事業を振り返ってみると、いくつかの点で計画策定時の想定との乖離が生じてきているのも事実です。具体的には、史跡や文化財の価値を損なわない復旧事業に不可欠な調査・分析・設計等の学術的・技術的判断に係る検討に要する時間や期間の長期化、また今後の想定事業量に見合う必要人材の確保などに不安要素があります。大きくは、社会情勢や、特に建設環境の変化があり、加えて熊本城の復旧が国内の過去の類似例の経験知だけでは解きほぐせない、対応できない未曽有の事案であることが挙げられます。

そこで短期５年の最終年度となる令和４年度に、事業主体としての自己点検を行い、この評価を有識者による検証委員会に諮りつつ、その助言を踏まえて改定作業に当たりました。計画の根幹となる基本方針は従来通りとした上で、短期施策の達成状況や課題等を逐一検証し、それに基づく計画期間の見直しを含めた計画改定を行うものです。

天守閣復旧完了

長塀復旧完了

特別見学通路

計画改定における主な改定点

・第１章　計画期間の見直し　・第３章　復旧手順及び期間の見直し

・第４章　施策と新たな取り組みの更新